

りゅうと 庄内町

らぶにんぶるまがた



東京～庄内町への主要アクセス

✈ 空路 (ANA1日4～5便運行) ※期間によって異なります
 羽田空港 → 約60分 → 庄内空港 → 車で約20分 → 庄内町余目駅前
 羽田空港 → 約60分 → 山形空港 → 車で約1時間30分 → 庄内町余目駅前

🚆 JR (新幹線 + 特急)
 ① 東京駅 → 上越新幹線 約120分 → 新潟駅 → 羽越本線 約120分 → 余目駅
 ② 東京駅 → 山形新幹線 約210分 → 新庄駅 → 陸羽西線 (代行バス) 約60～90分 → 余目駅

🚌 高速バス (夜行) ※予約: 庄内交通 0234-24-7600
 東京 → 約7時間 → 庄内町余目駅前

🚗 車 (高速道路利用)
 ① 東京 → 東北自動車道 約3時間40分 → 福島 JCT → 東北中央道 約1時間20分 → 山形 JCT → 山形自動車道 約30分 → 尾花沢 IC → 車で約1時間10分 → 庄内町余目駅前
 ② 東京 → 関越自動車道 約3時間40分 → 長岡 JCT → 北陸自動車道 約40分 → 新潟中央 JCT → 日本海東北自動車道 (一般道含む) 約3時間 → 酒田中央 IC → 車で約15分 → 庄内町余目駅前



庄内町の観光情報発信

山形県庄内町観光情報サイト
Navi 庄内町

イベントから観光モデルコースまで町のあらゆる観光情報を紹介しています。



Navi 庄内町

タイムリーな情報発信
庄内町 Instagram

庄内町、観光協会、立川総合支所がそれぞれに地域の情報を発信中!



庄内町
「ココオシ庄内町」



庄内町観光協会



立川総合支所
「いいね!立川」

庄内町商工会
庄内マルシェ

庄内町商工会が配信する飲食系アプリ。お得なクーポンやお店情報が満載です。



iPhone用



Android用

庄内町の旅行情報

庄内町余目観光ガイドの会

本誌 5～8 ページで紹介している余目の市街地を中心としたガイド。お申し込みは、庄内町観光協会へ。
0234-42-2922

きよかわ観光ガイドの会

本誌 9～12 ページで紹介している清川の歴史をめぐるガイド。お申し込みは、清川歴史公園へ。
0234-25-5885

サイト「清川歴史公園」にも申し込みフォームがあります



羽黒修験道を守る会

古の信仰の道、羽黒古道を案内するガイド。お申し込みは、立川総合支所 立川地域振興係へ。
0234-56-2213

庄内町のふるさと納税

庄内町ふるさと応援寄附金 (ふるさと納税)

0234-42-0159 (平日 8:30～17:15)

自慢のお米から地酒、豚肉、定期便まで、庄内町自慢の返礼品をたくさん用意しています。詳細は、手続き可能な特設公式サイト「庄内町ふるさと納税特設サイト」にて。



「庄内町ふるさと応援寄附金」公式サイト



「庄内町ふるさと応援寄附金」Instagram

庄内町商工観光課 観光物産係 / 庄内町観光協会

〒999-7781 山形県東田川郡庄内町余目字沢田 108-1 (庄内町新産業創造館クラッセ内)

電話: 0234-42-2922 (8:30～17:15) FAX: 0234-43-6422

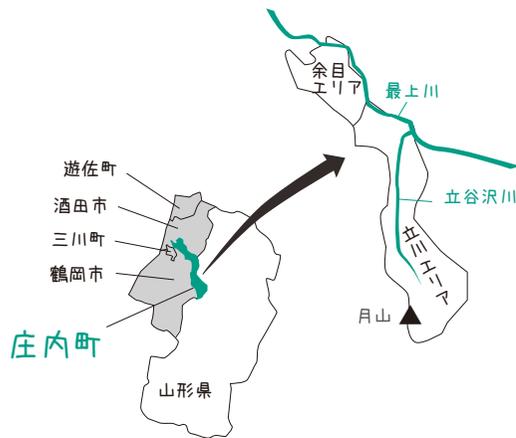
休業日 / 土日祝・年末年始 e-mail: shokokanko@town.shonai.yamagata.jp





おいしいお米のルーツ「亀ノ尾」の生誕地

ふたつの龍の 言い伝えがある おいしいお米のふる里。



最上川の兩岸に山が迫る最上峡を抜けると、途端に大きな空と庄内平野が一面に広がります。その地が、立谷沢川と最上川に沿って形成されている庄内町。2005年に余目町と立川町が合併して誕生した、龍にまつわるふたつの言い伝えがあるまちです。ひとつは立谷沢川流域の**龍神信仰**です。立谷沢川は月山を源とする清流で、江戸時代初頭に北館大学助利長公が**北楯大堰**を整備して、その清流を庄内平野に流すと、庄内平野は日本有数の米どころとして大きく発展しました（詳細は9ページ）。しかしその一方で、立谷沢川は大雨が降るたびに暴れる龍のようにクネクネと流れを変え、田んぼや村に水害をもたらしていました。そのため流域には水を司る神「龍神」を信仰する風習が生まれ、各所に龍神碑が祀られました。熊谷神社に続く道に立つ碑もそのひとつです。

熊谷神社は、古くから出羽三山、大山の善實寺とともに信仰を集めてきた庄内を代表する霊場です。境内の奥には御瀧神社が鎮座し、流れ落ちる御神水は下流の田畑を潤してきました。明治26年に阿部亀治が「**亀ノ尾**」の元となる3本の稲を発見したのも、その御神水が最初に流れ落ちる田んぼ。折れにくく、冷害と害虫に強い「**亀ノ尾**」は、町内の森屋多郎左工門が生んだ「**森多早生**」とともに日本のおいしいお米のルーツとなりました（左の図参照）。庄内町を「おいしいお米のふる里」と称するゆえんです。言い伝えのふたつめは、余目エリアにある「**金沼**」の**飛龍伝説**です。かつて金沼には嵐を起す龍が住み、村人たちは龍を鎮めるために毎年村の娘を泣く泣く捧げていました。ある年、その役が回ってきた信・心深い娘が龍に向かって観音経を一心に唱えたところ、龍は浄化し、この地の安

泰と稲作を守る龍神になりました。堤防が整備される前、最上川はその流れを大きく変えて大小様々な沼を残したといわれていることから、この伝説も最上川が大きく関係しているといわれます。時を経た1992年、商工会青年部がこの飛龍伝説を掘り起こし、飛龍の山車を製作して「余目まつり」で担ぎました。飛龍囃子が完成した2002年から飛龍をメインにした「夏宵まつり」を開催。そして2019年、「龍まちつくプロジェクト」が開始し、まちのふたつの「龍」をコンセプトとした新しい祭り創りが進められました。こうして2022年に始まったのが「**しよない氣龍祭**」です。ふたつの地に息づいてきた「龍」を、まちの発展と五穀豊穡を祈る新たな庄内町のシンボルに。「おいしいお米のふる里」は、龍とともに歩む「**りゅううと庄内町**」なのです。



1



4



3



2



7



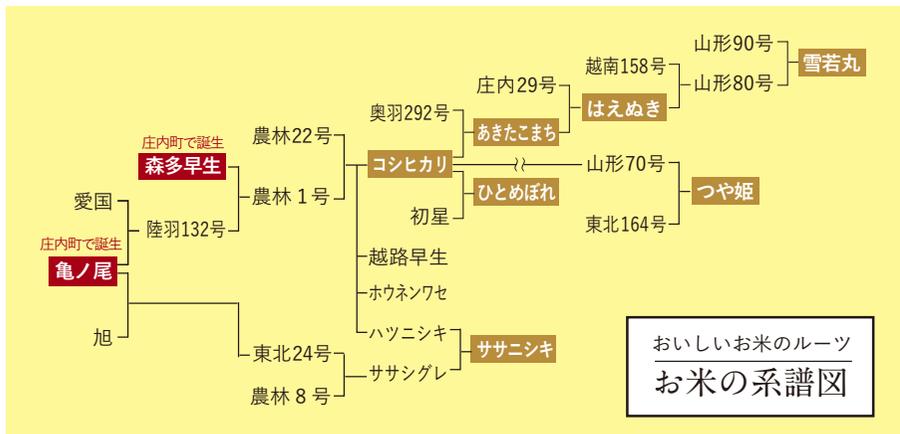
6



5

- ①庄内平野と月山。②北楯大堰。③「亀ノ尾発祥の地」看板。④「亀ノ尾」生みの親・阿部亀治。⑤熊谷神社。⑥飛龍伝説の地・金沼。⑦庄内町の北側に沿って流れる最上川。

2021年に始動したプロジェクト。先人たちの米に込めた想いをつないでいくために、特産品開発とブランド作りに取り組み中。





龍神信仰。

飛龍伝説。

庄内町の龍の祭りが

夏の忘れられない

記憶になっていく。

1
2

①フィナーレには庄内飛龍會の30人ほどの男性陣が飛龍を担いで舞います。②新たに作られた姫龍を担ぐのは庄内飛龍會を中心とする女性陣。③飛龍囃子に合わせたダンスと龍による氣龍祭パレードも見応えあり。



人と地域と時をつなげる。皆で創り、育てていく、新しいまちの祭り。

8月11日の夜。飛龍囃子が鳴り響く中、地元小中学生による龍担ぎやダンスパフォーマンスなどでまちの熱気が高まると、全長40mにリニューアルされた飛龍と新しく製作された全長30mの姫龍が、会場の左端と右端に分かれてスタンプバイします。そして太鼓の音と共に庄内飛龍會による龍の舞がスタート。沿道では観客に襲いかかるかのような迫力でくねる2体の龍に大きな拍手と歓声が沸き起こり、演者と観客が一体となるフィナーレはクライマックスを迎えます。

に」と2018年に名前を改め、町と一緒に「龍まちつくプロジェクト」の中心的役割を担って新たな祭り創りに励んできました。大切にしているのは、地域の子どもたちが大人になってもふるさとを誇れるような祭りにするのと。そのため祭りの実行委員会は全域からメンバーを集め、地元企業との連携を強化し、参加体験型の仕組みを作り、さらに寄付をしてくれた全国各地の人や地元の子どもたちの願い事を2体の龍のうろこに刻むなど、皆で祭りを創るように心がけてきました。「龍を通して人々をつなぎ、地域をつなぎ、時をつないでいきたい」という皆

8・11 夕方 START

県道44号線
庄内町ギャラリー温泉町湯
周辺





余目の中心地は

酒田と清川を結ぶ

街道沿いに発達した

商人のまち。

懐かしい景色と笑顔が

いつの時代も変わらず

ある元気なまち。

駅前商店街、茶屋町商店街、中央通り商店街…。余目に行くとき商店街が多いのに気がつきます。ここはかつて、酒田湊から清川を経て仙台方面に続く街道沿いに発達した地。特にハナブサ醤油や旧余目ホテルなどがある表町は、人や馬、駕籠が往き交い、店や旅館が建ち並ぶまちでした。大正3年に余目駅が開業すると、茶屋町に店がたくさん並ぶようになり、次第に駅近くにも商店街が形成され、今の姿へ。その歴史的背景からか、

駅から商店街を歩くと、最初は昭和レトロなまちの姿が続きますが、県道43号と庄内町役場を経て表町の方に行くと、往年の歴史と風格を感じさせる風景に出合います。江戸から明治・大正・昭和を経て現代へ。余目のまちが何故か懐かしい気がするのには、時代時代の面影が残っているからかもしれません。

そんな余目の商店街を支えてきたのは、今も昔もお店の人たち。各店が創意工夫するのはもちろん、店同士が集まってアイデアを出し合いながら商品磨きをする「庄内町一店逸品研究会」や、商店の知識と知恵を暮らしに役立てる「庄内町まちゼミ」など、一人一人が商工会とも力を合わせながら、町の元気をつくっています。景色を味わって、気になるお店に入っただけで会話して、まちをめぐればきっと意外な発見に出合えます。

まちめぐりマップは次ページへ



商店街のヒト4
駅から徒歩17分

「しょうゆの実」で一躍有名に ハナブサ醤油株式会社 佐藤 美智 さん

1823(文政6)年に「福島屋」として創業し、現在はしょうゆ、みそ、しょうゆの実造りを専門としている醸造蔵。15代目奥様で看板おかみの佐藤さんが「紅しだれ桜や夏水仙など、花の美しい時期に来店いただくと嬉しいです」と語るように、四季折々の花が咲く庭も見事。歴史ある仕込み蔵(工場)と合わせ、見学も可能なのでお問い合わせを。商品は店頭で直売所で購入できます。

9:00~18:00 土日祝休み 0234-43-3012



商店街のヒト1
駅から徒歩1分

庄内町のお土産ならなんでもあり なんでもバザールあつでば 鈴木 碧 さん

JR余目駅前にある、庄内町の産直&物産店。2014年オープン時からのスタッフである鈴木さんは、地元の人にも親しまれる看板娘。広報主任として、お店だけでなく大好きな庄内町のPR活動も精力的にしています。商品やお土産のことはもちろん、観光のことも気軽に聞いてみてください。

庄内町新産業創造館クラッセ内 9:00~18:00 第3火曜・元旦休み 0234-42-1777



商店街のヒト5
駅から徒歩19分

代表銘柄「やまと桜」の酒蔵 合名会社 佐藤佐治右衛門 松本 洋一郎 さん、遠田 嘉人 さん

創業1890(明治23)年の同社は、代表銘柄「やまと桜」の名で愛されてきた蔵。2023年4月から新体制となり、新当主の松本さんと新社長の遠田さんのもと、蔵人が一丸となって伝統を守りつつ、新たなブランドづくりに取り組んでいます。また、蔵見学をはじめ母屋を活かした観光事業も今後は展開すること。蔵見学はお問い合わせを(要予約/10~3月は造り期間のため不可)。

8:00~17:00 土日祝休み 0234-42-3013



商店街のヒト2
駅から徒歩6分

茶屋町商店街のこだわり酒店 山形の地酒うめかわ 三浦 政司 さん

戦前までは酒蔵だった酒屋さん。店主の三浦さんが酒蔵から直接仕入れているお酒が、庄内の地酒を中心にズバリと並んでいます。選ぶのに迷ったらアドバイスもしてくれますよ。オリジナルの商品開発にも積極的で、つや姫の地ビールや地元海産物を使った乾き物も。珍しくて喜ばれる庄内土産が見つかりそう。

9:00~19:30 (月~土)、9:00~19:00 (日祝) 第3日曜・元旦休み 0234-42-2466



商店街のヒト3
駅から徒歩10分

地元で愛されるおもち屋さん 川村もち店 川村 英子 さん

昭和30年代に先代が開業し、現在は川村さんとご主人と実母と3人でもち各種と赤飯の製造販売をしています。「なんでもバザールあつでば」などでも販売していますが、人気商品のためお店への予約注文が確実かも。また川村さんは庄内町商工会女性部部長として、まちの情報発信事業も担当。おすすめは立谷沢川流域だそう。

8:00~18:30 不定休 予約注文は 0234-42-3371 へ

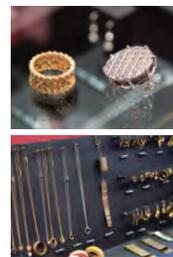


商店街のヒト6
駅から徒歩25分

ジュエリー工房&ショップ r23atelier88 阿部 竜 さん

阿部さんは7年間のイタリア修行を経て、生まれ故郷に工房兼ショップをオープンしたジュエリーデザイナー兼クラフトマン。ショップには西洋彫り技術を駆使したオリジナルブランド「r23atelier88」のジュエリーを展示する他、カジュアルブランド「otto otto」の商品も。土日祝にショップとして来客者を迎えています。リング作りなどのワークショップも受付中!

13:00~20:00 土日祝日のみ店舗営業(平日は予約可) 0234-43-0088



余目 まちめぐり MAP

JR余目駅前にある
庄内町新産業創造館クラッセを
起点にぐるーっと。余目は実は
ラーメン店などの飲食店が
たくさんある
グルメ天国です。

JR余目駅は
羽越本線と
陸羽西線の
接続駅！



庄内町新産業創造館クラッセ

観光案内所、庄内町情報館、なんでもバザールあつでは、カフェ余目製パン、FELICITA+、6次産業化貸工房などを併設する複合観光施設。無料レンタサイクルも利用できます。0234-43-6486

庄内町立図書館

2023年秋に新図書館としてオープン。木の香りに包まれたカフェのような空間です。

内藤秀因水彩画記念館

水彩画界の巨匠の作品約2000点を収蔵。2024年5月にリニューアルオープン。

庄内町八幡スポーツ公園

屋外施設（JFA公認規格人工芝サッカー場、ソフトボール場、多目的広場）と屋内施設（総合体育館、屋内多目的運動場、ほたるドーム）の総合施設。



庄内町文化創造館 響ホール

大ホールは座席数504。音響設計に優れ、コンサートから演劇まで幅広い演目が行われています。0234-45-1433

庄内町 ガラリー温泉町湯

湯気に集い、アートとくつろぐ温泉施設。泉質は単純温泉で熱波（ロウリュ）サウナも。町家造りが特徴で、中庭を囲むように浴室などが配置されています。9:00~21:00、第2水曜休み、大人530円・子ども260円。0234-43-2222

- 食堂・ラーメン
- 和食処
- 洋食
- カフェ
- お好み焼き・たこ焼き・焼きそば
- パン・スイーツ
- 飲み処

いつ行っても楽しめるのは？

その二、歴史の里 清川めぐり



かつての最上川舟運の宿場町には見どころが盛りだくさん

古代から
最上川舟運の
要となる

平安末期
源義経と弁慶が
御諸皇子神社で
一夜を明かす



江戸初期
1612
北館大学が
北楯大堰をつくる



1622
酒井家
庄内入部
参勤交代の
本陣と
御殿が
おかれる



1689
松尾芭蕉が清川に
上陸する



出羽三山詣での
人々にぎわう

江戸後期

1830
「明治維新の魁
(さきがけ)」
清河八郎が
生まれる

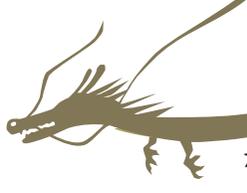
江戸末期

1868
清川口が
戊辰戦争の
戦場となる



大正3年
1914
鉄道が開通
水の駅としての
役割を終える

平成31年
2019
「清川歴史公園」
オープン



清川は、

立谷沢川が最上川に

合流する地にある

静かな里。

まちを歩けば、

壮大な歴史物語が

見えてきます。

堰工事が進められると、荒地だった場所にも多くの田が開かれ、村が生まれました。米どころ庄内の礎となった北楯大堰は400年以上絶えることなく田を潤し続けています。



きただてだいがくのすけとしなが
北館大学助利長公
1547-1625
1601年に狩川城主となり北楯大堰の整備に尽力。「開発の恩人・水神様」として北館神社のご祭神となっている。

北楯大堰 きただておおぜき
開削から400年以上が経過し、農業のみならず地域発展への貢献度が高い施設を登録する「世界かんがい施設遺産」に2018年、山形県で初めて登録されました。



清川は、山々が両脇に迫る最上峡のちょうど出口にあたる地。鉄道が開通する大正時代まで、この先しばらくの区間は陸路を開削できなかつたため、最上川舟運が唯一の交通手段でした。そのため清川は必然的に運行する舟の発着地となり、古くから人や物、文化が行き交う交通の要衝として、多くの歴史を内包してきました。



御諸皇子神社
ごしよのおうじじんじや
「報恩坂」という石段を登った山中にある由緒ある神社。創建は不明。1759年から2年かけて作られたという随神門の金剛力士像も有名です。

【江戸時代前中期】

酒井家が庄内に入部すると、藩主が1交代で江戸に勤務する参勤交代は、清川から最上川舟運で川を上り、途中で陸路を進むのが通常コースでした。そのため関所の隣に庄内藩の御茶屋（本陣または御殿という）が置かれ、参勤交代の度に清川はにぎわいました。1764年の参勤交代では舟の数が133艘、一行は700人にのぼったそう。また俳人松尾芭蕉が『おくのほそ道』で清川に上陸し、羽黒山、月山、湯殿山を参拝したように、江戸中期頃からは出羽三山詣でが庶民に広がり、全国から参拝客が押し寄せるようになりました。

【江戸末期】

宿場町として栄え、宿や店、酒屋などが軒を連ねていた清川。中でも当地一の素封家として知られたのが齋藤治兵衛家で、後に「明治維新の魁」と評された清河八郎の生家でした。八郎は18歳で江戸に上り、清河塾を開き、浪士組をまとめて尊王攘夷運動を起こそうとしますが、

【古代〜中世】

清川に伝わる歴史で最も古い逸話は、源義経一行が奥州藤原氏の元に向かう途中、地内の御諸皇子神社で一夜を明かしたとの話。『義経記』にその件が記され、当神社には今も義経ゆかりの品や大絵馬が保存されています。

【江戸初期】

江戸幕府が成立すると、最初に庄内地方を治めた最上義光は狩川城主として北館大学助利長公を配しました。当時の庄内平野は低い位置を流れる最上川から水を引くことができず、荒地が広がりが人々が困窮していました。そこで北館大学は領内をくまなく歩いて調査し、10年の月日を費やして立谷沢川が平野よりも高い位置を流れていることを発見。立谷沢川から水を引いて庄内平野に送る堰工事に着手しました。1日約7400人の作業員を動員するなどして、わずか4カ月の短期間で約10kmの水路を完成。その後も本水路を元に

志半ばで暗殺されてしまいました。生まれ故郷の清川ではその偉業を称え、八郎を御祭神とする清河神社を建立、没後100年の際には清河八郎記念館を建て、遺品など貴重な資料を展示しています。



歓喜寺 かんきじ
1579年の創建。清河八郎生家の齋藤治兵衛家の菩提寺。清河八郎と妻お蓮の墓、戊辰戦争の庄内軍戦死者墓、天保飢饉義民の墓などがあります。

清河神社と
清河八郎坐像

今回まち歩きを案内してくれた「きよかわ観光ガイドの会」の齋藤八重子さん。とてもわかりやすく清川の歴史を教えてくださいました。



の人によって弔われ続けています。その後鉄道が開通し、交通の要衝としての役目を終えた清川。今はかつての喧騒が幻だったかのようにな静かな里となりましたが、地域の人たちが「きよかわ観光ガイドの会」を立ち上げ、清川の歴史を伝える活動をしています。その言葉に耳を傾けながらまちを歩けば、この地で起きた歴史ロマンにきつと心が動かされるに違いありません。



御殿林
戊辰戦争では庄内藩の本陣が置かれた。今はチップが敷かれた心地よい林。

【戊辰戦争】
清河八郎暗殺から5年後、戊辰戦争が勃発し、薩長軍によって朝敵とみなされた庄内藩に新政府軍が迫ってきました。その際、激しい防衛戦が行われたのが清川口です。立谷沢川を挟んだ銃撃戦では村民も率先して援軍に入り、敵陣を退けることができました。歓喜寺にはこの合戦で戦死した庄内側の墓碑が、立谷沢川沿いの山際には長州藩士の墓碑が建てられ、地域



清河八郎について熱く語る館長の廣田幸記さん。



清河八郎記念館
1962年に開館。大人 500 円、高校生 300 円、中学生 200 円、小学生以下無料。月曜・冬季（12～2月）休館。0234-57-2104

まち歩きの出発点に
清川歴史公園 0234-25-5885



清川関所は川口番所と船見番所がある観光拠点。川口番所では歴史的資料の展示がある他、「お食事処 御殿茶屋」を併設し、曜日限定で手打ちそばやスイーツが楽しめます。また、観光案内やレンタサイクルも川口番所に受付しています。

【川口番所】
開館▶10:00～17:00
休館▶月曜（祝日の場合は翌日休館）と冬季間（12～2月）

【お食事処 御殿茶屋（川口番所内）】
昼食▶土日祝の11:00～14:00
東風そば、手打ちそば、
麦切り、御殿セット
喫茶▶平日の11:00～16:00
コーヒー、抹茶
あづま屋菓子舗の菓子など



イ千オシは山形名物のダシをのせた「東風（だし）そば」です

【レンタサイクル】
レンタル時間▶10:00～17:00
料金▶平日4時間以内 500円/台、1日（10:00～17:00）1,000円/台

きよかわ観光ガイドの会

清川歴史公園を拠点に、「きよかわ観光ガイドの会」が案内します。コースは5種類。1週間前までの要申込みです。詳しくは公式サイトへ▶



「回天の魁士・清河八郎」の波乱の生涯を紹介するホームページはこちら▶



**歴史の里
清川めぐり
MAP**

清川を観光するならまず関所の復元施設がある清川歴史公園へ。駐車場も完備の拠点施設です。



6月

しょうない金魚まつり

MAP:P7 6月 イベント



庄内町新産業創造館クラッセ イベント広場

「振袖金魚」と呼ばれる庄内金魚や錦鯉の販売をメインに、植木屋や屋台が並ぶお祭りです。期間中は金魚すくいやマルシェなどのイベントも開催。

7月

ファンデューロ 月山

MAP:P21 7月下旬 イベント



南部山村広場

オフロードバイクの耐久レース。子どもも参加でき、キャンプも一緒に楽しめます。



5月

北館神社例大祭

MAP:P22 5/1 年中行事



北館大学助利長公を御祭神とした神社。五穀豊穡と平和を祈ります。



清河神社例大祭

MAP:P11 5/30 年中行事



5/30は清河八郎の祥月命日。八郎の辞世の句などの詩吟や講話が行われます。

初夏

ヨガ×座禅 in 白狐山光星寺

連なる赤い鳥居が目印の庄内町唯一の神仏習合寺でヨガ体験。ご住職から座禅の作法も教えてもらいました。



4月

楯山公園桜まつり

MAP:P22 4月中旬 イベント



楯山公園

庄内平野を一望できる桜の名所で毎年4月に開催。祭りの名物は豚肉とニシンのあぶり焼き。夜はぼんぼりが点灯するので、夜桜鑑賞にもおすすめです。

カートソレイユ最上川 オープン

MAP:P22 4~11月 体験施設



東北最大級のJKLA加盟コースを持つカート場。本格的なレースから気軽なファミリー向けまで、モータースポーツを楽しめます。



春山の恵みをハント！ 山菜ツアー



月山麓で名人のガイドで山菜をハンティング。収穫した山菜は、アウトドアクッキングで天ぷらを作りました。

3月

和合の里を創る会 亀治のひな人形展

MAP:P22 3月 イベント



亀ノ尾の里資料館

旧家に大切に受け継がれてきたお雛様や、1000体を超える土人形のお雛様などを期間展示します。



2月

やままつり

MAP:P22 1月中旬 年中行事



千河原八幡神社

安産と無病息災・身体堅固を祈願する、千河原で古くから行われてきた祭りです。地区の少年たちが裸で冷水を浴びてみそぎをする姿は、県を代表する冬の風物詩。1月15日に一番近い日曜日に毎年開催しています。

米のふる里新酒まつり in 庄内町

庄内町新産業創造館クラッセ

「亀ノ尾」発祥の地・庄内町で、地元酒蔵などをめぐり、新酒や料理を味わう人気のイベント。

MAP:P7 3月上旬 イベント



白銀のスノートレッキング in 北月山荘

ガイドの案内のもと、北月山荘を起点に2時間ほど雪山をトレッキングしました。



冬

春

庄内町のお雛めぐり

バスで町内施設のお雛様をめぐり、清川関所内の食事処でそばを堪能。茶道体験で和菓子と抹茶をいただきました。



Shonai town EVENT CALENDAR

年間行事

1月

庄内町には年間を通して開催される行事やイベントが盛りだくさん。季節ごとに参加して庄内町の食や文化を楽しんじゃおう。

庄内町の小さな旅

A SMALL TRIP in Shonai town

「庄内町の小さな旅」はまちをより楽しむための体験ツアー。庄内町の「いいもの・いいこと」を満喫!!

庄内町観光協会が企画運営している着地型観光。庄内町観光協会のサイト「New!庄内町」にてお知らせしています。
0234(42)2922



庄内町観光協会

季節を楽しむイベントは?

まちのイベントカレンダー

大自然に包まれた北月山エリアから田園が広がる余目エリアまで、まち全体が体験フィールド。



11月

12月 あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト

MAP:P22 11月下旬 イベント



余目第四まちづくりセンター他 500点を超える自慢のお米がエントリ...



しょうない秋まつり

MAP:P8 10月上旬 イベント



総合体育館周辺

庄内町の農・商・工が一堂に会する大収穫祭です。



月山龍神マラソン

MAP:P11 10月上旬 イベント



清川グラウンド

龍神信仰の街道を走る、地元住民とのふれあい...



メンバーシップに登録



立谷沢川流域の奥座敷にある温泉宿泊施設。...



月山のベースキャンプに立谷沢の自然体験拠点に



MAP:P21

立谷沢字西山 1-67 0234-59-2137

まぎしま 榎島ほうき作り体験



庄内町の伝統ほうきを、地元の名人指導で作るワークショップ。

きのこ採りハイキング & 青空クッキング

専門知識が必要なきのこ採りの名人案内のもと、紅葉がきれいな月山でハンティング。



秋

秋の農業体験

～在来作物カラトリ芋を食べて！掘って！編んで！～



農家レストラン農々家でカラトリ芋の郷土料理を食べて...

余目八幡神社例祭 余目まつり

9月

MAP:P8 9/14~16 年中行事



余目八幡神社

14日の前夜祭ではみこし渡御が、15日の本祭ではみこしや奴振りなどによる行列が練り歩き、...

熊谷神社例祭

MAP:P22 9/11 年中行事



出羽三山や善寶寺とともに庄内の霊場として古くから信仰を集めてきた神社。



8月

しょうない氣龍祭

MAP:P7 8/11 イベント



県道44号線 庄内町ギャラリー温泉町湯周辺 「龍」をコンセプトに五穀豊穡と町の発展を祈る新たな祭り。

詳細は4ページへ

御諸皇子神社例祭

MAP:P11 8/18 年中行事



山車行列と5頭の獅子が腹に抱えた太鼓の音に合わせて踊り、清川獅子と神楽が町中を練り歩きます。

狩川八幡神社例大祭

MAP:P22 8/21 年中行事



神楽の奉納やみこし担ぎなどが練り歩きます。家紋入りの提灯が、戸口の先に飾られる夜の景色は幻想的。

余目あんちゃ豆 収穫体験&料理教室



余目あんちゃ豆の収穫と料理教室をして、あんちゃ豆フルコースを堪能しました。



夏

Myシルクストール作り ~癒しのラベンダー染め~



風車村のラベンダーを摘み、庄内シルクのストールを染色体験。そば打ち体験も。

小舟で漕ぎ出す自然体験

~秘境の大池でじゅんさい摘み取り~ 立谷沢の秘境、大池でじゅんさい摘み体験を楽しみました。



洋食 カフェ

余目市街地 MAP:P7

- カフェ&ギャラリーJUJU 43-0404
- カフェ&ダイニング K-Dining 42-2253
- ブリラーノ 42-3867
- レストラン香林塔 42-2253
- LOTUS coffee stand 090-1996-0509

余目市街地 MAP:P8

- 椰の木カフェ 42-3396
- ホワイトハウス 42-3317
- 和牛料理はんだ 42-0883



食堂・ ラーメン

市外局番は
0234

余目市街地 MAP:P8

- 川村食堂 42-2179
- 軽食ひまわり ヤマザワ余目店 42-2211
- ケンチャンラーメン 余目店 43-1109
- 三平食堂 42-3037
- 田村食堂 43-3377
- 中華そば家 たかはし 42-0355
- 遠田食堂 43-2622
- 麺工房 香味屋 25-4355
- 麺や 猪鹿蝶 090-6628-2250
- ラーメン万人 43-4780

余目市街地 MAP:P7

- 一幸食堂 42-3221
- 一番亭 28-8192
- かなめ食堂 0120-91-3068
- 中華そば 八千代 42-2166
- 中国料理あじ彩 42-0850
- つるや 43-3901
- 麵厨房 煌麵 43-6635
- らーめん支那虎 25-0056

全体 MAP:P22

- パストラール 42-3351
- 花のドライブイン 42-3527
- ラーメンショップ 椿 狩川店 56-3223

パン・ スイーツ

余目市街地 MAP:P7

- カフェ余目製パン 42-1359
- 川村もち店 42-3371
- FELICITA+ 090-3131-0668



清川地区内 MAP:P11

- あづま屋菓子舗 57-2087

全体 MAP:P22

- 武田餅屋 56-2609

余目市街地 MAP:P8

- 森のケーキ屋さん 42-3342

和食処

余目市街地 MAP:P7

- 手打うどん鶴 42-3176
- 依田善 42-3335

余目市街地 MAP:P8

- 爽味旬風 和心 42-1189
- 農家レストラン農々家 090-7665-4701

清川地区内 MAP:P11

- お食事処 御殿茶屋 (川口番所内) 25-5885

全体 MAP:P22

- 主婦レストランいろいろ (風車市場内) 56-3039



飲み処

余目市街地 MAP:P8

- 居酒屋 ほりこし 43-8832
- 割烹 繁利屋・串処 35番 42-3035
- 創作 BAL KURA 090-1996-0509
- やきとり一平 42-0289
- 焼肉もりもり 28-8226

余目市街地 MAP:P7

- 居酒屋 小林食堂 25-1275
- 居酒屋 しょうじ 43-3906
- 居酒屋 にいちゃん 25-5139
- 居酒屋 二号店 42-3564
- 居酒屋 ひげ坊主 42-3901
- 稲村 45-0615
- 酒と仕出し かねこ 42-2149
- 酒友快処 うたげ家 42-3713
- ホルモン・焼肉居酒屋 まるしん。 28-9852
- レッドサルーン 28-8665
- やき鳥一久 43-3920

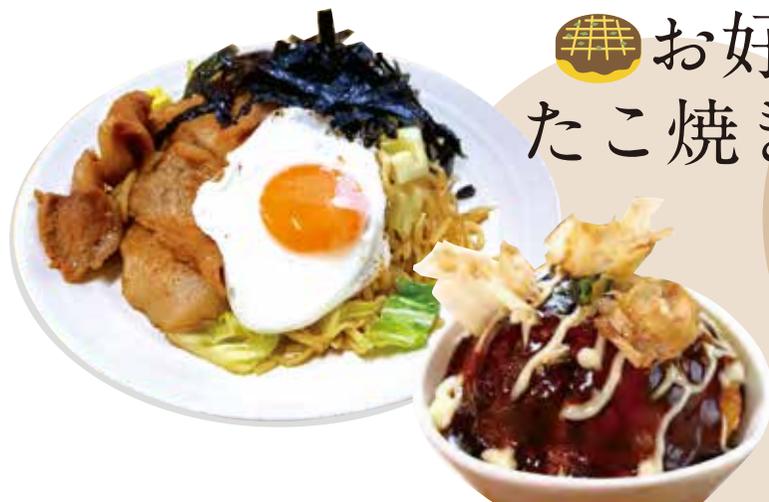
お好み焼き たこ焼き・焼きそば

余目市街地 MAP:P7

- お好み焼 なにわ 43-3287

余目市街地 MAP:P8

- 鉄板焼 こみせん 28-9222
- 焼きそば専門店 テンテン 42-0884



気軽にランチを食べたい時も郷土料理と地酒に舌鼓を打ちたい時も。庄内町の食をお試しあれ。

おいしいものを食べたい時は？

まちの飲食店、こんなにあります

お店の場所は余目マップ、清川マップ、全体マップと連動しています。

ごはんとお酒のおとも



ハナブサ醤油の商品／「醤油塩」はしょうゆもろみを絞った後に底にたまる「おり」と庄内沖の海水で作る塩。「しょうゆの実」は「食べるしょうゆ」とテレビで話題になったごはんのおとも。肉や魚の調味料にしても good。

マルハチの漬物／「山形が誇る漬物文化と新しい漬物」がコンセプトの漬物メーカー。「雪ん娘」「若もぎ小茄子」「山形のだし」はロングセラー商品。お買い求めはスーパーや通販サイトで。



みーばあのおしの実つくだ煮／立谷沢地区の「タチラポレディース」がしそ栽培から手がけている商品。

サクサク甘えび／「山形の地酒うめかわ」プロデュース、庄内産海産物の乾き物シリーズ。

しそ巻／甘めのみそを青しその葉で巻いて油で揚げたおふくろの味。

ハラダのカレーの素／地域食材を使った本格スパイスカレー。肉と水か牛乳があれば気軽に作れるヒット商品。

おいしいものいろいろ



藻屑蟹 出汁の素／最上川の天然モクズガニを丸ごと使っただし汁。本格的なコクと味。

焼き菓子など／町内の就労支援施設が作る焼き菓子は地元食材がたっぷり。

バナナポート／清川の「あづま菓子舗」一番人気スイーツ。バナナなどが入っていないリッチシリーズも。お買い求めは同店で。



跡の青きな粉／庄内町跡地区に、江戸時代から伝わる特産品。黄緑色のきれいな色で、お餅にピッタリ。

サルサソース／「いで葉工望」と「はらぺこファーム」のコラボ商品。ピリ辛の万能サルサソース。

はらぺこファームの商品／ラズベリー畑の観光農園が栽培から製造販売する商品。ラズベリーリーフのお茶、ラフランスソース、プラムソース、ブラックベリーソース、バジルのジェノベーゼソースなど。

お米とおもち



庄内まるもち／庄内ならではの餅文化である丸餅を、紅白にセットにした「山形庄内かめこめプロジェクト」のプチギフト。



杵つき餅／庄内産でわのもちを使用した「梅木もち屋」の丸餅は、白、とちもち、よもぎもち、玄米餅、紅白もちの5種類。

庄内米食べ比べギフト／「おいしいお米のコンテスト」受賞歴を持つ「吉祥ファーム」が2合キューブのお米を詰め込んだギフトセット。

お米の加工品



佐藤佐治右衛門の酒／「やまと桜」の銘柄で親しまれてきた酒蔵。「純米酒メダカライス」は2023年に新体制になって誕生した新商品。

プリンセスエールとタートルエール／庄内町産「つや姫」と「亀ノ尾」を使用した「山形の地酒うめかわ」のクラフトビール。

鯉川酒造の酒／復活させた地元の酒米「亀ノ尾」をはじめ、地元産原料にこだわった酒造りで、すっきりとした旨辛口が特徴。



かりんと百米／「米シスト庄内」の特別栽培米はえぬきを100%使用した米粉のかりんとう。7種の味わいが楽しめる。

いどご煮／小豆ともち米と一緒に炊いたローカルスイーツ。レットルだから即食可。

あまるめおこし／黒砂糖と庄内町名物・青きな粉をまぶした米おこし。



亀じいの玉手箱／庄内町のコシヒカリを使った就労支援施設「ひまわり園」の手作りクッキー。

玄米デカフェ／種類の異なる地元産玄米を組み合わせたオリジナルブレンド。

おすすめのおみやげは？

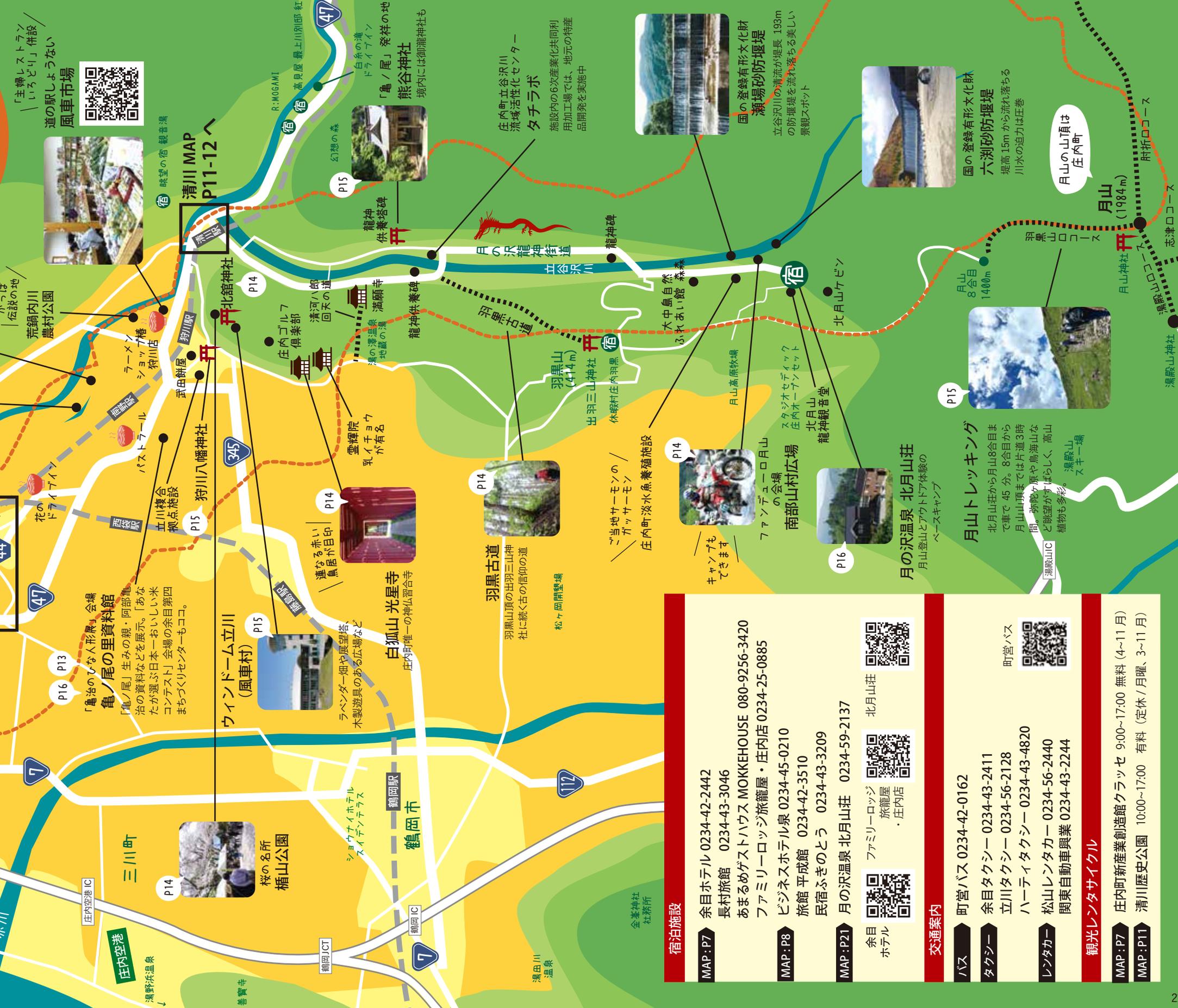
庄内町の「食」おみやげ図鑑

おいしいお米のルーツ「亀ノ尾」が誕生した庄内町。だから自慢はやっばりお米だけど、それだけじゃありません。

おみやげの購入はなんでもバザールあつでは（P5）と道の駅しょうない風車市場（P22）で。

うつつと庄内町 MAP

飛龍伝説が伝わる余目エリアと
龍神信仰が残る立川エリア。
龍とともに歩む
りゅうな庄内町の全貌を
一挙にご紹介。



宿泊施設

MAP: P7 余目ホテル 0234-42-2442
長村旅館 0234-43-3046
あまるめガスハウス MOKKEHOUSE 080-9256-3420
ファミリローτζ旅籠屋・庄内店 0234-25-0885

MAP: P8 ビジネスホテル泉 0234-45-0210
旅館 平成館 0234-42-3510
民宿 ふきのとう 0234-43-3209

MAP: P21 月の沢温泉 北月山荘 0234-59-2137

余目ホテル
ファミリローτζ旅籠屋・庄内店
北月山荘

交通案内

バス 町営バス 0234-42-0162

タクシー 余目タクシー 0234-43-2411
立川タクシー 0234-56-2128
ハーティタクシー 0234-43-4820

レンタカー 松山レンタカー 0234-56-2440
関東自動車興業 0234-43-2244

観光レンタサイクル

MAP: P7 庄内町新産業創造館クラッセ 9:00~17:00 無料 (4~11月)
MAP: P11 清川歴史公園 10:00~17:00 有料 (定休/月曜、3~11月)